

2012 年度 E.FORUM「全国スクールリーダー育成研修」 「学校教育研究フェスタ」:実施の様子

2012年8月19日(日)、京都大学にて「学校教育研究フェスタ」を行いました。東は栃木から西は佐賀まで、78名の方にご参加頂き、盛況のうちに終えることが出来ました。

8月19日(日)

● オープニング&自己紹介タイム

前平泰志研究科長から「学校教育研究フェスタ」開会のご挨拶をしました。新たな参加者を交え、前日同様に自己紹介・交流タイムを設けました。



● 講演「21世紀における図書館—学習空間を考える」 (担当:川崎 良孝)

学校同様、社会における公共の学習空間として存在している図書館。その図書館の現状を踏まえながら中立的に思われる図書館が、いかに社会の動きと密接に結びついているのか検討することを通して、社会における学習空間が持つ意味を考えてみました。



● 教科等別分科会 (実践報告&実践交流)

関心のある教科等ごとに六つの分科会を開催しました。実践報告・研究報告の後、参加者が持ち寄った実践資料をもとに議論が行われました。

①総論 担当:西岡 加名恵(京都大学大学院教育学研究科 准教授)

- ・研究報告:「体育科のパフォーマンス課題」北原 琢也(元・京都橘大学教授)
- ・実践報告:「教員研修」三藤 あさみ(横浜市教育委員会 指導主事)
- ・実践交流:芸術・実技系教科、総合、教員研修など



<参加者の声>

- ・自分が向き合っている課題が皆も向き合っているものだったので、ホットすると同時にやりがいを感じる事ができました。具体的な実践を持ってこれるようがんばります。
- ・緻密に設計された試案に情熱を感じ、自分も情熱を持ち続けられる教師でいたいと思いました。小中高の系統性が参考になりました。また、横浜市のきめ細やかな研修体制に感銘を受けました。自己の振り返りとステージに応じた研修について考えさせられました。

- ②国語 担当:八田 幸恵(福井大学教育地域科学部 准教授)
- ・実践報告 小学校:宮本 浩子(鳴門教育大学附属小学校 教頭)
 高等学校:渡邊 久暢(福井県立若狭高等学校 教諭)
 - ・実践交流



<参加者の声>

- ・読みの発達と「本質的な問い」や「ルーブリック」のあり方、示し方について見つめなおすことができました。小学校・中学校・高校という幅広い実践者と交流することにより、いろいろな着眼点ができた。
- ・宮本先生の「読む」ということの段階(あるいは側面?)の考え方が、とても参考になりました。どう構造化していくのか考えてみたいと思います。渡邊先生のご実践で、生徒にとっての学びの必要性を喚起する、ということに共感しました。パフォーマンス課題の考え方に通じるものだと思います。

- ③社会 担当:鋒山 泰弘(追手門学院大学心理学部 教授)
- ・実践報告 小学校:奥田 成美(加西市立北条小学校 教諭)
 中学校:藤島 俊幸(福岡県教育センター 指導主事)
 - ・実践交流



<参加者の声>

- ・非常によい刺激になりました。社会科教師は足でかせぐ！教材研究を日々の生活の一部としていきます。
- ・地に足のついたいい実践ばかりでした。見方、考え方の新たな切り口（小中連携、歴史の見方、授業でのグル）の授業案をみんなで検討したので深まりました。よかったです。

④算数・数学

- 担当: 石井 英真(京都大学大学院教育学研究科 准教授)
- ・実践報告: 神原 一之(広島大学附属東雲中学校 副校長)
 - ・共同研究発表: 「京都市立高倉小学校の取り組み」
 大下 卓司(京都大学大学院教育学研究科 大学院生)
 - ・実践交流

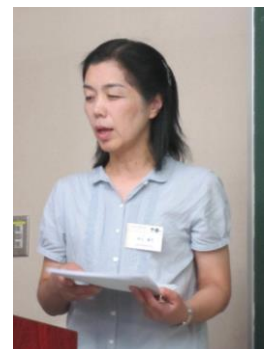


<参加者の声>

- ・多くの研究して下さった方のレポートを読むことができ、たくさんの元気をもらうことができました。
- ・院生や講師の先生方のお立場、実践者の多様な校種の中でもパ課題をどうするか、教科するとは何かなど、軸がぶれずに本質を多様な考えで捉え直せる場づくりがさすがです。互いの結びつき、敬意が生む良さを子供にも返していきます。

⑤理科

- 担当: 中池 竜一(京都大学大学院教育学研究科 助教)
- ・実践報告 小学校: 高橋 正人(香川大学附属高松小学校 教諭)
 小学校: 山岸 朋子(金沢市立中央小学校 教諭)
 中学校: 井上 典子(京都市立京都御池中学校 教諭)
 - ・実践交流会



<参加者の声>

- ・指導の立場の先生、担任の先生、小中の先生、初めて P 課題に出会った先生、いろいろな立場の方の話が聞けて愉快的な時間を過ごせました。みなさんありがとうございます。
- ・目指しているところを途中で見失ってしまい混乱しましたが、だからこそ聞いた先生方の声がとてもよかったです。

- ⑥英語 担当: 赤沢 真世(立命館大学スポーツ健康科学部 准教授)
 ・実践報告 高等学校: 村田 和世(兵庫県立宝塚北高等学校 教諭)
 小中連携: 西山 由美(京都府中丹教育局 指導主事)



<参加者の声>

- ・赤沢先生、実践報告をしていただいた先生方、ありがとうございました。もっと時間があれば、さらに深めてお話を聞きたいと思いました。英語科スタンダードについて、さらに多くの先生方に共感をもってもらい、効果的な取り組みについて共有したいという気持ちです。
- ・実践交流タイムではより具体的な意見交換ができ、とても参考になりました。使えそうなもの、自分の学校用アレンジして取り組みそうなものがありました。また、昨日作ったパフォーマンス課題にもいろいろなアドバイスをいただけてありがたかったです。

※ 各分科会参加人数

分科会	総論	国語	社会	算数・数学	理科	英語
人数	9	20	10	12	15	12

● 全体討論・質疑応答

各分科会での議論の成果や残された疑問点を報告していただき、全体でより深く検討しました。



● クロージング

フェスタのみ参加された方には講習評価アンケートにご記入いただきました。